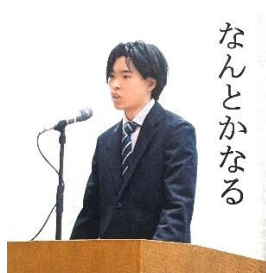


札幌北高定時制だより

令和7年度 第5号 2025.11.13

生活体験発表 石狩支部最優秀！全道大会に進出し全校応援！



なんとかなる

3年生の佐伯くんが石狩支部高等学校定時制通信制生徒生活体験発表に出場し、見事に石狩支部最優秀賞（1位）に輝き、全道大会に進出しました。全道大会は全校応援を行い、全校生徒で佐伯くんの発表を見守りました。タイトルである「なんとかなる」と言う言葉には、困難を悲観的に捉えず前向きになり、礼を尽くし、人を大切にし、人に励まされつつも、自分で率先して行動する。この循環が奇跡を起こし、結果として「なんとかなる」様になって行くという前向きなメッセージが込められていて、聞く人々に大きな勇気を与えてくれました。

2025 北定フェス はじける笑顔！大成功！



10月2日・3日に『2025 北定フェス』が行われました。今年は内容を変更して、1日目にステージ発表・全校ビンゴ大会、2日目に体育大会を行いました。

新しい取り組みであるステージ発表では、生徒たちがこの日のために練習してきた楽器演奏や歌唱を披露したり、畑山先生も出演するなど、とても盛り上がりました。2日目の体育大会では上級生がさすがのパフォーマンスを見せたり、1年生が団結した応援を見せるなど「北定」の素晴らしい一体感がたくさん見られました。



笑顔に彩られた2日間は、生徒一人ひとりの心に深く刻まれたことと思います。この経験が、より豊かな学校生活へとつながるよう、引き続き指導・支援をして行きたいと思います。

新たな取り組みに挑戦し見事に成功に導いた佐伯会長率いる生徒会の皆さん、2日間生徒たちの活動を見守ってくださった後援会長の酒井様、機材・運営で協力いただいた Break の皆さま、参観に来ていただいたのべ60人の保護者・関係者の皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。



家庭科の授業で『こども縁日』実施

3年生の家庭科の授業で、生徒たちが企画・準備・運営を行った「こども縁日」を実施しました。

駄菓子くじ、ヨーヨーすくい、ポップコーン、チョコバナナ、射的の屋台が並び、他学年の生徒たち、先生方に楽しんでもらう素敵な実習になりました。

この「こども縁日」は素晴らしい体験や思い出だけでなく、教育的にもとても意義のあるものだと考えています。

まず、計画性、限られた予算で工夫する力など実生活に直接活きる実践力が身につきました。

そして、「どうすれば喜んでもらえるか」「安全に行うには」など相手の立場になって考える力、優しく声をかけたり、臨機応変に対応したりする社会性やコミュニケーション能力を磨くことができました。

さらに、企画から当日運営まで、グループで協力し、自分の役割と責任を果たすことで、協調性や責任感を深く学ぶことができました。

生徒たちは、誰かのために工夫し、行動する喜びを実感できたと思います。この経験を今後の生活に活かしてくれることを期待しています。



北大生（未来の先生）との交流を行いました



この度、本校では北海道大学の「教職実践演習」を履修する学生を2日間受け入れました。

今年から授業見学だけでなく、大学生と交流する体験的な時間を多く設定し、特に数学・英語・体育の授業には大学生が実際に参加して本校生と交流しました。また、初めての試みで放課後座談会を行いより深く対話する機会を設けました。

数学・英語では、大学生による丁寧な個別指導などが行われました。数学ではマンツーマンで問題の解き方を学び、英語では発音や表現について教わり、学びを深めることができました。体育では、大学生も運動に加わり、ソフトバレーなどで汗を流し、世代を超えた交流が出来ました。座談会では、大学生が自身の大学生活や受験体験、趣味の活動の話などを率直に語ってくれたことで参加した本校生徒の視野が広がりました。本校教員も座談会に参加し、大学生にとっても深い学びを得る機会になり好評でした。